

Impressa Xs90 OT（ワンタッチ）取扱いマニュアル

ユラ インプレッサ Xs90 ワンタッチ ご使用に際して（重要事項）

本マニュアルは大切に保管してください。また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 定期点検

メインユニットは約一年でオーバーホールが必要です。年に一度販売代理店で定期点検を行ってください。

2. カルシウム除去

定期的にボイラーや配管のカルシウム詰まりを防ぐためカルシウム除去が必要です。
カルシウム除去剤を販売代理店でご購入いただきカルシウム除去を行ってください。

3. 毎日の洗浄

長くお使いいただくために洗浄タブレットによる洗浄を毎日行ってください。
毎日洗浄を行わなかった場合メインユニットの寿命が半分程度になる場合があります。
洗浄を行っていない場合の故障は保証外となりますのでご注意ください。洗浄剤は販売代理店でご購入ください。

食洗機のご使用はお避け下さい。部品の脱落や変形、不具合の原因となります。ドリップトレイ、水タンクをはじめ、
いかなる部分もお手入れの際は必ず手で洗うようにしてください。

4. 保証書

故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合

故障、定期点検の場合は販売代理店にご連絡ください。

安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為

⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて

- コンセントは、100V（ボルト）で機械一台あたり 15A（アンペア）以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。
テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ/コードについて

- 機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。
機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。
- 機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。
機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。
お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について

- 発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて

- 延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。
電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コードや接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アース線について

- 接続（アース）していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。アース線は機械に付属品としてついています。
- アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。アース線は次の場所に接続しないでください。
①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口
アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください

日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止

- スチームノズルやコーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 注意：トラブルがあったときの処置

- 機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると火傷や感電する恐れがあります。
- 機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。
- 機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
- ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。
ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止

- 火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止

- 機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止

- 機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

⚠ 注意：機械故障の防止

- 機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。
- コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め

- 定期的に下記の点検を必ず行ってください。
①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。
②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。
③アース線が正しく接続されていますか。

⚠ 注意：通電について

- 夜間など長時間で使用にならないときは必ず電源を切ってください。

本製品は日本国内の使用に限ります。以下に類する場所での使用を意図して製造されたものです。
○店舗内厨房 ○ホテルやその他居住型施設 ○旅館、ユースホステル等 ○一般家庭 ○その他

Contrasto
株式会社コントラスト

東京都品川区戸越 5-14-17-201(〒142-0041)
TEL03-3783-8899 FAX03-3783-6589
e-mail: info@contrastojp

CONTENTS

ユーラ インプレッサ Xs90 ワンタッチ ご使用に際して	1
安全にお使いになるために	2
製品保証書	3

目次 / 備品	4
各部名称・ディスプレイ表示の意味	5
各ボタン名称・はじめてお使いになるとき	6

日常のオペレーション	7
抽出の準備	
粕の捨て方・排水	
電極部の清掃	
クロー징ング	
電源を切る	

コーヒー・お湯の抽出 / 抽出量かんたん設定	8
コーヒーの抽出(応用編)	9
ロータリースイッチ	
コーヒーアラカルトキー	
挽き目調整	

カプチーノ / ラテ・マッキアート抽出	10
ミルクフォーム / スチームドミルクの抽出	11
2段階スチームジェット (オプション) 使用方法	

メニューボタン設定・1 (コーヒー編)	12
メニューボタン設定・2 (ミルク・給湯編)	13
その他の設定	14

トラブルシューティング・1 (ディスプレイに表示されるケース)	15
トラブルシューティング・2 (ディスプレイに表示されないケース)	17

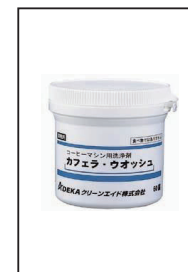
メンテナンスキーのロックおよび解除方法	18
ミルクラインの洗浄	19
洗浄プログラム (コーヒーライン)	20
カルシウム除去プログラム	21



●ステンレスカップ



●エアーサクション (スピア)



●洗浄タブレット
(コーヒーライン用)



●カルシウム除去剤



●ラテ・ウォッシュ
(ミルクライン用: 別売品)



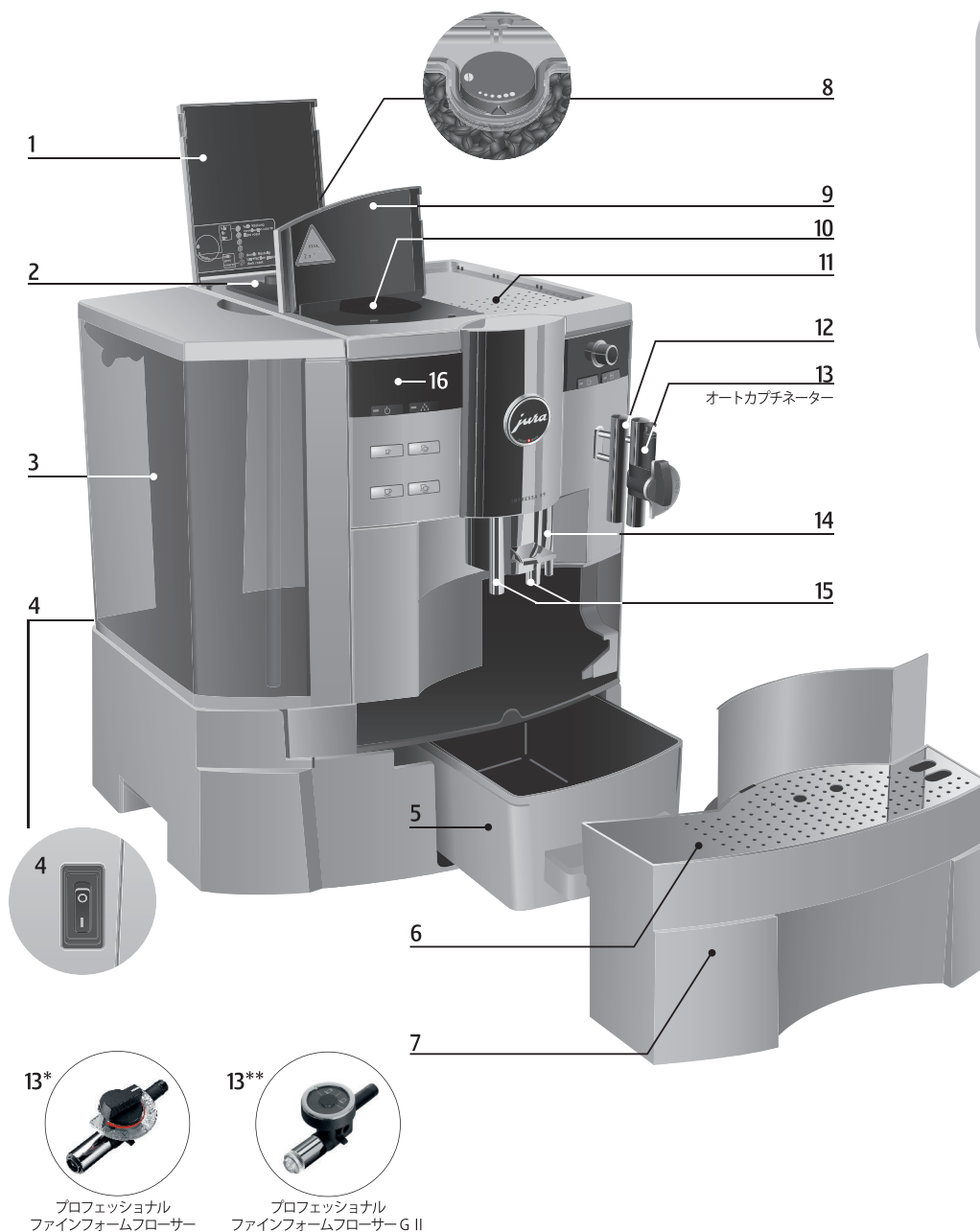
●ビッグ豆コンテナ



●2段階スチームジェット

※ミルクコンテナについては別途お問い合わせください

インプレッサ Xs90 ワンタッチ 各部名称・ディスプレイ表示の意味 (基本編)



各部名称

- | | |
|------------------|---|
| 1: 豆ケースカバー | 10: 洗浄タブレット投入口 |
| 2: アロマ保存カバー (中蓋) | 11: カップトレイ |
| 3: 水タンク | 12: ミルクメニュー用コーヒー抽出口 |
| 4: 主電源スイッチ | 13: オートカプチネーター
<small>マシンの製造時期によって異なります。ミルクフォーム関連ページ以外はオートカプチネーター (旧タイプ) の写真になっています。</small> |
| 5: 粕ケース | 13*: プロフェッショナルファインフォームフローサー |
| 6: ドリップパネル | 13**: プロフェッショナルファインフォームフローサー G II |
| 7: ドリップトレイ | 14: 給湯口 (高さ調整付) |
| 8: 挽き目調整ダイヤル | 15: コーヒー抽出口 (高さ調整付) |
| 9: 洗浄タブレット投入口カバー | 16: ディスプレイ |

ディスプレイ表示の意味

**COFFEE
READY**

抽出可能
お好みのメニュー
ボタン (p.5 参照) を
選択して下さい

**EMPTY
GROUNDS**

粕ケース (5) を
空にしてください

**FILL
WATER TANK**

水タンク (3) に
水を補充して下さい

**PRESS
RINSE**

リンスボタン (18)
(p.6 参照) を押して下
さい

**FILL
BEANS**

豆ケース ((2) の下)
にコーヒー豆を補充
して下さい

**RINSE
CAPPUCCINO**

カプチネーターの
リンス (すすぎ) をし
て下さい (18)

**EMPTY
TRAY**

ドリップトレイ (7) を
空にしてください

**CLEAN
MACHINE**

洗浄プログラム (p.20)
を実行して下さい

**TRAY
MISSING**

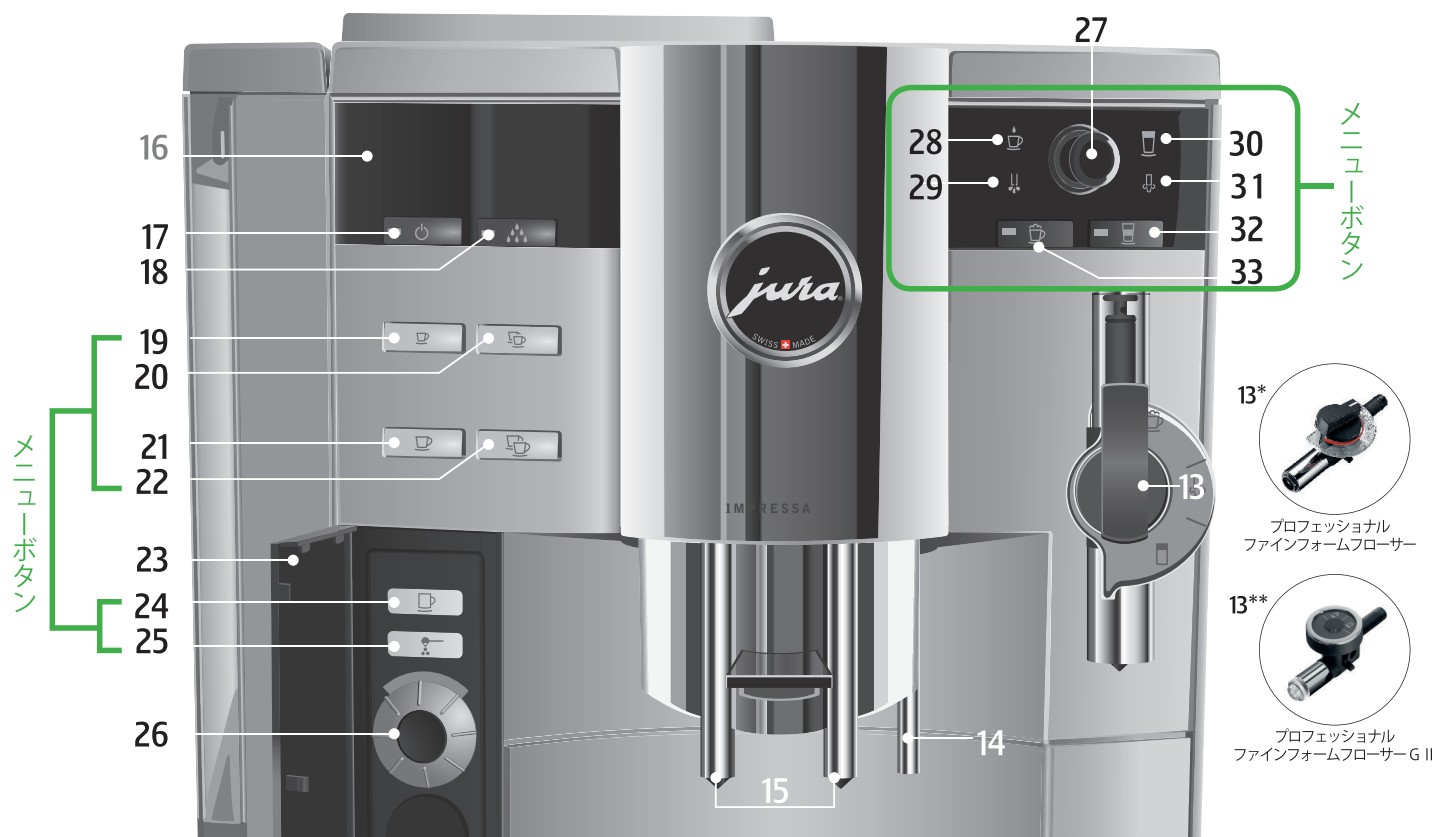
ドリップトレイ (7) が
入っていません

**DECALCIFY
MACHINE**

カルシウム除去プロ
グラム (p.21) を実行
して下さい

※上記以外の表示について、また上記の指示に従っても表示がわからない場合は
トラブルシューティングのページ (p.15 ~) をご覧ください

インプレッサ Xs90 ワンタッチ 各ボタン名称・はじめてお使いになるとき



操作ボタン名称

- | | | |
|--|---------------------------|---------------------|
| 13 : オートカプチネーター
: プロフェッショナルファインフォームフローサー /G II
(マシンの製造時期により仕様が異なります。いずれも別売オプション品の2段階スチームジェットに付替可能) | 19 : ☐ エスプレッソ 1 杯取りボタン | 27 : セレクタースイッチ |
| 14 : 給湯口 (高さ調整付) | 20 : ☐ エスプレッソ 2 杯取りボタン | 28 : ☕ 定量給湯 |
| 15 : コーヒー抽出口 (高さ調整付) | 21 : ☐ レギュラー 1 杯取りボタン | 29 : ☕ 連続給湯 |
| 16 : ディスプレイ | 22 : ☐ レギュラー 2 杯取りボタン | 30 : ☐ 定量ミルク |
| 17 : ⏻ ON/OFF ボタン | 23 : 設定パネル扉 | 31 : ☕ 連続ミルク |
| 18 : ☼ リンス (すすぎ) ボタン | 24 : ☐ コーヒーアラカルトキー | 32 : ☐ ラテ・マッキアートボタン |
| | 25 : ☐ パウダーコーヒー (挽粉) 選択キー | 33 : ☐ カプチーノボタン |
| | 26 : ロータリースイッチ | |

はじめてお使いになる時

①電源プラグに付属のアダプタ (3P → 2P) をとりつけ、プラグに差し込みます。マシン背面の主電源を ON にします。 OFF ➔ ON



②きれいにすすいだ水タンク (3) に水を満し、マシン前面の ON/OFF ボタン (17) を押します。



WELCOME TO JURA



FILL SYSTEM

③リンスボタン (18) を押します。



HEATING UP

MACHINE RINSING

加熱中。マシン内部をすすいでいます。左右の抽出口からすすぎのお湯が出るので排水受で受けます。



FILL BEANS

④豆を補充して下さい。
豆ケースフタ (1) とアロマ保存カバー (2) を開き、コーヒー豆を補充します。



COFFEE READY

マシンをお使い頂く準備が整いました。

日常のオペレーション

■抽出の準備

①主電源を入れる

マシン背面の主電源スイッチ OFF → ON (4) を ON にします。



②給水

きれいにすすいだ水タンク (3) に水をいれます。
※お湯、ミネラルウォーター、電解水等は使用しないでください。※水タンクは毎日中性洗剤を使用して洗って下さい。



③豆の補充

豆ケースカバー (1)、アロマ保存カバー (2) を開け、コーヒー豆を補充します。

④ ON/OFF ボタン

ON/OFF ボタン (17) を押します。



⑤ウォーミングアップ

ディスプレイに下図のような表示がでます。

HEATING UP

ウォーミングアップ中、しばらくお待ちください。

数分後自動的に表示が変わります。

PRESS RINSE

リンスボタンを押してください。

⑥リンス (すすぎ)

リンスボタン (18) を押し、リンスを行います。表示が下図のように変わり抽出可能となります。



MACHINE RINSING

リンス中

COFFEE READY

抽出可能
メニューボタンを選択してください

※起動時に自動でリンスを始めるよう設定ができます。
(→ p.14 リンス設定)

■粕の捨て方・排水

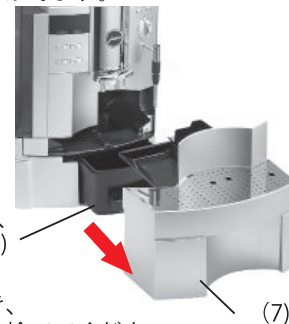
①コーヒー粕を捨てる

30 ~ 40 杯の抽出で、下図の表示がでます。

EMPTY GROUNDS

粕ケースを空にしてください

右図のように本体からドリフトトレイ (7) をひきだし (前端を軽く持ち上げるようにして手前にひく) 奥にある粕ケース (5) を取り出します。
中にたまった粕を捨て、水で簡単にすすぎます。このとき、ドリフトトレイにたまった排水も捨ててください。



②ドリフトトレイの排水

ドリフトトレイ (7) に排水がたまると下図の表示がでます。

EMPTY TRAY

ドリフトトレイを空にしてください

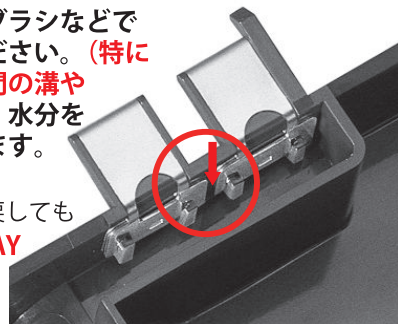
ドリフトトレイをひきだし、中にたまった排水を捨ててください。※この時、トレイ後端の電極部も清掃します



■電極部の清掃：重要

ドリフトトレイ (7) の奥にある **2箇所**の接点電極は、**中性洗剤**を使用し歯ブラシなどで念入りに清掃してください。(特に円中、金属板同士の間の溝や裏側面も) すすぎ後、水分を拭き取り本体に戻します。

※ここが汚れていたり濡れているとトレイを戻してもエラー表示 **EMPTY TRAY** が消えないことがあります。



■クロー징ング

終業前に以下を実行してください

1. ミルクラインの洗浄 (p.19 参照)

2. 洗浄プログラム (p.20 参照)

※カルシウム除去 (p.21 参照)

DECALCIFY MACHINE または **DECALCIFY NOW** 表示が出ている際に行います。

■電源を切る

①排水受けを用意する

中央のコーヒー抽出口 (15) と、右側のミルクメニュー用コーヒー抽出口 (12) の下に適当な容器を用意します。



② ON/OFF ボタン

ON/OFF ボタン (17) を押すと自動的にコーヒー抽出口がリンス (すすぎ) されます。



MACHINE RINSING

リンス (すすぎ) 中

リンスが終わると以下の表示が出ます。

SPOUT RIGHT PRESS RINSE

右側抽出口
リンスボタンを押してください

③リンスボタン

リンスボタン (18) を押します。右側のミルクメニュー用コーヒー抽出口 (12) がリンス (すすぎ) されます。



MACHINE RINSING

リンス (すすぎ) 中

※オペレーション中ミルクを使用したのにカプチネーターのリンスを行わなかった場合、ここで **CLEAN CAPPUCINO** と表示され、リンスボタンが点灯します。10秒以内にリンスボタンを押すとカプチネーターのリンスができます。

④スタンバイモード状態

上記手順が終わると電源が切れ、ON/OFF ボタンが点灯 (=スタンバイモード) になります。

コーヒー・お湯の抽出 / 抽出量かんたん設定

■コーヒーの抽出

ディスプレイに右図のように表示
されていればコーヒーが抽出可能です。

**COFFEE
READY**

①抽出口の調節

コーヒー抽出口 (15) をカップの高さにあわせ調節します。

1 杯取りのときは 2 本の抽出口の中心に、

2 杯取りのときは 2 本の抽出口
それぞれの下にカップを置きます。



②メニューボタン選択

好みのメニューボタンを押すとあらかじめ設定された量と
濃度のコーヒーが抽出されます。

例) エスプレッソ 1 杯取り



エスプレッソ 1 杯抽出中
バー表記で進行具合を表示

できあがり

メニューボタン初期設定時

エスプレッソ 1 杯取り (19)		エスプレッソ 2 杯取り (20)	
レギュラー 1 杯取り (21)		レギュラー 2 杯取り (22)	



コーヒーアラカルトキー (24)

(設定パネル扉内：取り扱い方法詳細は次ページに)

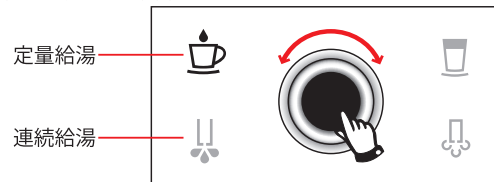
※各メニューボタンには好みの抽出量、濃度、温度を設定できま
す (→ p.12 メニューボタン設定・1)

■お湯の抽出

①給湯方選択

給湯口 (14) の下にカップを置きます。
セレクトスイッチ (27) を回して定量給湯 ☺ または連続給
湯 ☹ を選び (= 点灯させ) ます。

例) 定量給湯を選択した場合



定量給湯

定量給湯マークが点灯した状態でセレクトスイッチを押し
ます。



定量給湯が選択された状態



湯温が表示されます。(最初にボタンを
押してから 2 秒以内に再度ボタンを押
していくと湯温を変更できます (3 段
階))



給湯開始。バー表示で進行具合が表示
され、設定した一定量のお湯がでると
自動的にとまります。途中で止めたい
場合は再度ボタンを押すととまります。

連続給湯

連続給湯の場合も同じようにマークを点灯させ、セレクト
スイッチのボタンを押して給湯開始、止めたい時に再度ボタ
ンを押します。(バー表記はできません)



連続給湯が選択された状態

※湯温および定量給湯時の湯量設定を変更できます (→ p.13 メニュー
ボタン設定・2 / セレクトスイッチ)

■抽出量かんたん設定

お使いのカップサイズに合わせて抽出量を設定します。

例) エスプレッソ 1 杯取りボタンの場合



① ボタンを 2 秒以上押し
続けます

② ENOUGH COFFEE? と
表示されたら指を離し
ます。抽出が始まります。

③ 程良い量と思われるところで、も
う一度ボタンを押してください。抽
出がとまります。(どのボタンでも可)

④ CONFIRMED と表示され、抽出量
が決定されました。

※設定をやりなおす場合はもう一度同じ操作をして下さい。
※各ボタンとも ENOUGH (メニュー名) ? と表示され操作
は上記と同じです。カプチーノボタン、ラテ・マッキアート
ボタンはミルクとコーヒーが順番に ENOUGH ? とでますの
で順を追って設定して下さい。(ラテ・マッキアートの PAUSE (一
時停止: p.10 参照) については、ボタンを押して停止時間を決定して
も CONFIRMED は表示されず、続けてコーヒー量の設定に入ります。)

ご注意ください



※ 各メニューボタンとも **約 2 秒程度** の長押しで
ENOUGH... ? と表示され、抽出量が増える状態になり
ます。その為フリードリンク等**セルフサービススタイル**
お使いの際は、お客様がボタンを押し続けないよう
充分ご注意ください。※設定変更ができないようロックを
かけられます (→ p.18 メンテナンスキーのロックおよび解
除方法)

※設定される方の見た目判断になるため、チェーン店様等
複数店舗で抽出量を揃えたい場合は p.12 ~ 13 の方法
で設定されることをおすすめします。

コーヒーの抽出（応用編）・挽き目調整

■ロータリースイッチ

安定したコーヒー提供のため、各メニューボタンには事前にコーヒー濃度、抽出量、温度等をそれぞれ登録・設定しておきますが、(P.12 メニューボタン設定・1) 抽出中にロータリースイッチを使用することで、メニューボタンの設定を変え、**濃度(=コーヒー粉量)、抽出量、を変更することが可能です。**

例えばこんな時・・・

いつものエスプレッソより少しだけ薄くしてほしい、と言われた

方法1：
NORMAL で設定してある挽き豆量を MILD に減らす

方法2：
抽出量 30 ml で設定してあるエスプレッソ 1 杯取を 40 ml に増やす

①設定パネル扉 (23) を開いておきます。

②抽出口の下にカップを用意してエスプレッソボタンを押します。



1 ESPRESSO
マシンが豆をひきはじめます



方法1：豆を挽く音がしている間にロータリースイッチを回すと現在のコーヒー濃度が表示されます。更に回し(右回転=増、左回転=減)任意の濃度を表示させれば濃度(粉量)はその通りに変更されます。

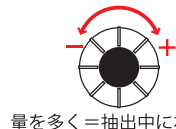
方法2：コーヒーの抽出中にロータリースイッチを回すと現在の抽出量(湯量)が表示されます。更に回し(右回転=増、左回転=減)任意の量を表示させれば抽出量はその通りに変更されます。

AROMA

濃度を薄く=挽き豆中に左回転

AROMA

1 ESPRESSO 30ML



量を多く=抽出中に右回転

1 ESPRESSO 40ML

※抽出を途中で止めたい時は再度同じボタンを押します

■コーヒーアラカルトキー

コーヒーアラカルトキーは抽出ごとにその都度コーヒー濃度、抽出量を設定できるフレキシブルなメニューボタンです。他のメニューボタンと使用法が少々異なります。

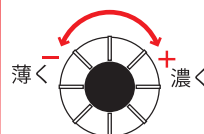
①抽出口の下にカップを用意してコーヒーアラカルトキーを押します。



A LA CARTE

コーヒーアラカルトキー (24)
(設定パネル扉内)

②まずコーヒーの濃度を設定します。ロータリースイッチを回してお好みの濃度を表示させてください



エクストラマイルド: **XMILD**
マイルド: **MILD**
ノーマル: **NORMAL**
ストロング: **STRONG**
エクストラストロング: **XSTRONG**

※①～②は手早くすすめないと元の表示に戻ってしまうことがあります

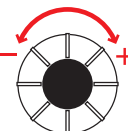
③お好みの濃度を表示させたらロータリースイッチを押します。マシンが豆をひき、抽出をはじめます。



A LA CARTE

③すぐにロータリースイッチを回すと抽出量が表示されます。更に回して(右回転=増、左回転=減)お好みの量を表示させてください。抽出量はその通りに変更されます。

A LA CARTE 135ML



A LA CARTE 150ML

※抽出を途中で止めたい時は再度ロータリースイッチを押します

■挽き目調整

コーヒー豆の挽き目は基本設定で出荷しておりますが、ご使用の豆に合わせて6段階から調整する事もできます。

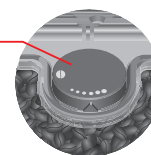


挽き目調整は必ずグラインダー作動中(=豆を挽く音がしている間)に行ってください

①豆ケースカバー (1) を開けます



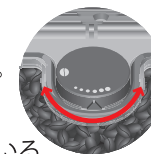
挽き目調整ダイヤル (8)



②抽出口の下にカップを用意してコーヒーメニューボタン(どれでも可)を押します。

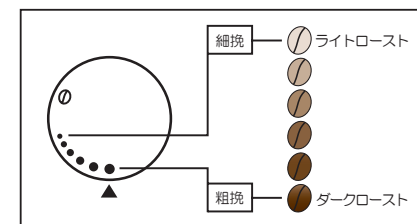


③豆を挽く音がしている間に挽き目調整ダイヤルを回転させます。豆のマークが大きくなるほど挽きは粗くなります。



※前回挽いた粉がまだ内部に残っているため、ダイヤル回転後何杯か抽出してみてください。

豆の焙煎と挽き目の目安



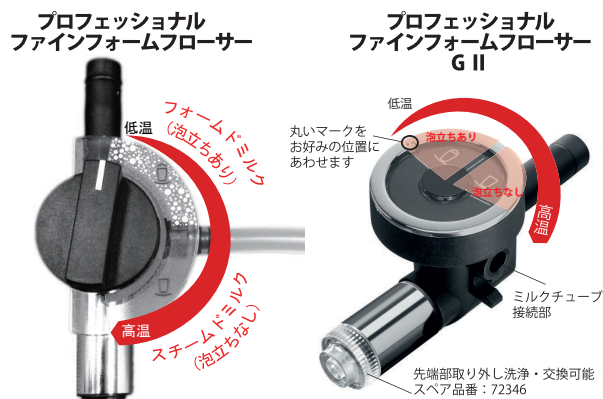
※挽き目が細かすぎると粉づまりやコーヒーの出が悪くなるなど様々なトラブルの原因になる事がありますのでご注意ください。

カプチーノ & ラテ・マッキアートの抽出

■抽出の準備

①フローサーの仕組み

フローサーは下図のような仕組みになっており、ミルクの温度、泡立ちの具合を調整することができます。

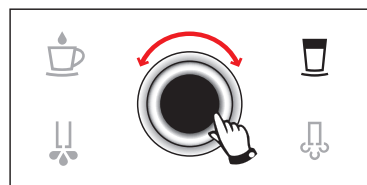


②スチームボイラーの水抜き

まず、スチームボイラー内に余分な水が溜まっていますので空出しによって取り除いておきます。

※連続使用の場合必要ありません。

- フローサーの下に適当な排水受けを置きます。
- ミルクチューブを宙に浮かせた状態（液体につかっていない状態）にして、牛乳を吸い込まないようにします。
- セレクタースイッチを回して定量ミルクを選択（点灯）、セレクタースイッチを押します。



定量ミルク (30)

連続ミルク (31)

これでスチームのみが空出しされ、ボイラー内の余分な水分が抜けます。

③牛乳のセット

ミルクチューブを牛乳パックまたは容器に移した牛乳に差し込みます。

■カプチーノ

③カップのセット

フローサーの下にカプチーノ用のカップを置きます

④ワンタッチ抽出

カプチーノボタンを押します



CAPPUCCINO

←カプチーノ

←設定されているコーヒー濃度が豆のマークで表示されます。

●まずミルクフォームが抽出され、設定量に達したところで自動的にとまります。

●次にコーヒーが抽出され、設定量に達したところで自動的にとまります。

ENJOY

できあがり

※コーヒー濃度、ミルクフォーム抽出量（秒数）、コーヒー抽出量の設定を変更できます（→ p.13 メニューボタン設定・2 / ワンタッチボタン）

⑤フローサーの rinse

抽出が終わるとフローサーのrinse（すすぎ）を促す表示がでます。フローサーの下に排水を受ける容器を置き、rinseボタンを押します。

※rinse表示のタイミングは抽出後すぐ、または抽出 10 分後のどちらかを選択できます（→ p.14 rinse設定）

※業務終了時は洗剤（別売）を使用して洗浄してください。（冊子裏面 p.19 ミルクライン洗浄ページ参照）

**RINSE
CAPPUCCINO**

フローサーのrinseをして下さい（必須）



**CAPPU.
RINSING**

フローサーrinse中

■ラテ・マッキアート

左項、抽出の準備をすませてから

①牛乳のセット（8℃以下に冷やした牛乳を使用のこと）

フローサーからのびているチューブを牛乳パックまたは容器に移した牛乳に差し込みます。

②ミルクフォーム選択

泡立ちありの位置にセットします。

③グラスのセット

フローサーの下にラテ・マッキアート用のグラスまたはカップを置きます

④ワンタッチ抽出

ラテ・マッキアートボタンを押します



LATTE MAC.

←ラテ・マッキアート

←設定されているコーヒー濃度が豆のマークで表示されます。

●まずミルクフォームが抽出され、設定量に達したところで自動的にとまります。

●ミルクがフォーム（泡）と液体部分に分かれるのを待たため、コーヒー抽出前に数秒のポーズ（一時停止）が入ります。これによりラテ・マッキアート特有の層ができます

Point！ポーズを長めにとると層がよりハッキリします

●次にコーヒーが抽出され、設定量に達したところで自動的にとまります。

ENJOY

できあがり

※コーヒー濃度、ミルクフォーム抽出量（秒数）、一時停止の秒数、コーヒー抽出量の設定を変更できます（→ p.13 メニューボタン設定・2 / ワンタッチボタン）

ミルクフォーム・スチームドミルクの抽出 / 2 段階スチームジェット

■ミルクフォーム・スチームドミルクの抽出

①スチームボイラーの水抜き

p10、カプチーノ&ラテ・マッキアートの抽出の準備を参照し
スチームボイラー内の余分な水を空出しによって取り除いておきます。
※連続使用の場合必要ありません。

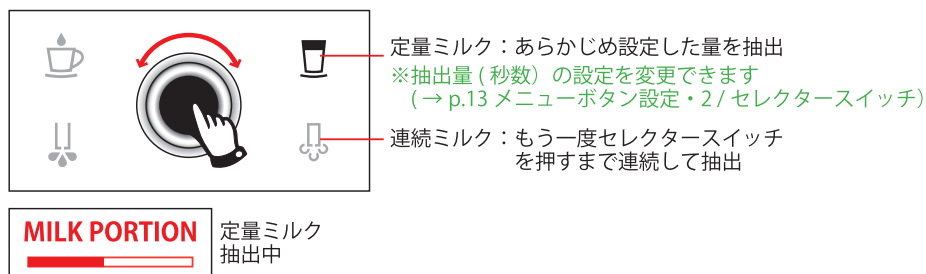
②泡立ちあり・なしの選択

ミルクチューブを牛乳パックまたは容器に移した牛乳に差し込みます。
p10、カプチーノ&ラテ・マッキアートの抽出の準備を参照し
ミルクの温度・泡立ちのあり・なしをお好みの位置にあわせます。

③抽出方法の選択

プロフェッショナルファインフォームフローサー / G II の下に
カップまたはミルクピッチャーを置きます。
セレクトースイッチを回して、定量または連続ミルクを選択（点灯）、
セレクトースイッチを押します。

(例) 定量ミルクを選択



※どちらの場合も抽出を止めたい時は再度セレクトースイッチを押します。

④フローサーの rinse

抽出が終わるとフローサーの rinse (すすぎ) を促す表示がでます。フローサーの下
にお湯を受ける容器を置き、rinse ボタンを押します (p.10 ⑤参照)。

※業務終了時は洗剤 (別売) を使用して洗浄してください。
(冊子裏面 p.19 ミルクラインの洗浄参照)

■2 段階スチームジェット使用方法 (別売オプション品)

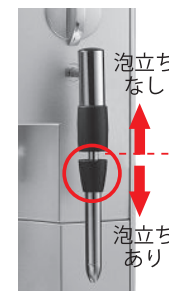
2 段階スチームジェットはミルクを入れたカップに直接差し込んで温めや泡立て
を行う事ができる付替え部品です。ミルクを出しておくスペースがない場合やミ
ルクの使用頻度が低い場合におすすめします。

①スチームボイラーの水抜き

p10、カプチーノ&ラテ・マッキアートの抽出の準備を参照し
スチームボイラー内の余分な水を空出しによって取り除いておきます。
※連続使用の場合必要ありません

②泡立ちあり・なしの選択

カップまたは容器に入れたミルクに先端を差し
図中円内の部分を上下させて泡立ちのあり・なしを
決定します。※写真は下がっている状態 (泡立ちあり) です。



③抽出方法の選択

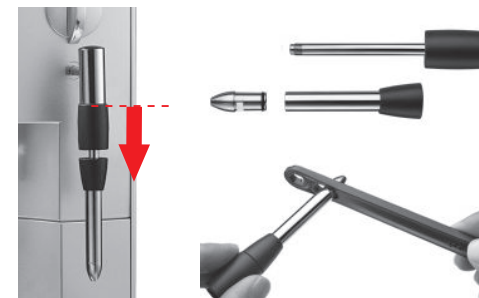
左項③を参照して定量または連続ミルクを選択し、
セレクトースイッチを押して泡立て、または温めを開始します。
お好みの状態 (温度) になったら再度セレクトースイッチを押してとめます。
泡立ちミルクの場合は容器をわずかに回しながら行います。

④2 段階スチームジェットの rinse

泡立て、または温めが終わるとrinse (すすぎ) を促す表示がでます。スチーム
ジェットの下にお湯を受ける容器を置き、rinse ボタンを押します ((p.10 ⑤
参照)。

■業務終了時の洗浄

点線より下部を手前に折るように抜き取り
付属のスプーンを使用して写真のように
分解します。
分解したパーツを洗剤でつけ置き洗いし
た後、よく洗い流し、汚れのひどい部分
はブラシなどでこすり洗いし、きれいに
すすいで下さい。
きれいになったパーツを元通り組み立てて
戻します。
※組み立てを間違えるとミルクがでませ
ん。写真を参照して、間違いのないよう
元に戻してください。



メニューボタン設定・1〔コーヒーボタン編〕

各メニューボタンそれぞれに以下の項目を設定および変更することができます。

コーヒー
ボタン
(19) ~ (22)

- コーヒー抽出量 (湯量)
- コーヒー濃度 (粉量)
- コーヒー温度

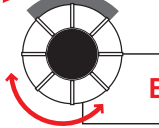
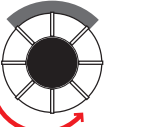
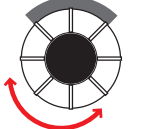
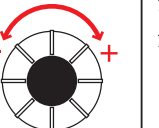
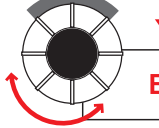
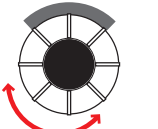
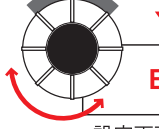
ワンタッチ
ボタン
(32) (33)

- コーヒー抽出量 (湯量)
- コーヒー濃度 (粉量)
- コーヒー温度

- ミルクフォーム抽出量
- ポーズ (一時停止)

ミルク・給湯
ボタン
(28) ~ (31)

- 定量ミルク量 (湯量)
- 定量給湯量 ●給湯温度
- ボタン不使用 (ロック) 設定

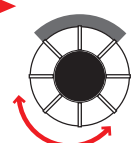
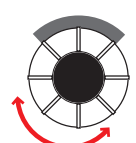
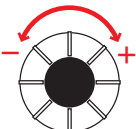
設定項目	設定画面へ (共通操作)	サブメニュー選択	備考	サブメニュー 決定	設定の増減・選択 ロータリースイッチを回す	決定	通常画面へ戻る
コーヒー抽出量 (湯量) ※抽出量は1杯取りボタン、2杯取りボタン、それぞれに設定を行って下さい。 (連動していません。) 設定のヒント ●2杯取りボタンでも、設定および表示量は1杯あたりの湯量です (例: 30ml x 2杯 = 30ml と設定) ●1杯取り / 2杯取りの抽出量を揃えたい場合、2杯取りの湯量を約5cc程多めに設定することをおすすめします。 (粉に吸われる水分量も増えるため)	 長押し ピッ MAINTENANCE	下図のサブメニューを表示させる WATER · ML	コーヒー抽出量を 25 ~ 240ml のあいだで 設定 (5ml 単位)				 EXIT まわして EXIT を表示 させ、短押しで決定 (=サブメニュー終了)
コーヒー濃度 (粉量) ※2杯取りボタンはコーヒー濃度の 設定ができません。(1杯取と連動の為) ※1杯取りボタンの濃度は下記の範囲で 設定して下さい (2杯取と連動の為。2杯取ボタン 不使用の場合は自由に設定可能) ●レギュラー 1杯取り: XM (エクストラマイルド) ~ MILD (マイルド) ●エスプレッソ 1杯取り: M (マイルド) ~ NORMAL (ノーマル) ※コーヒーアラカルトキー (E) の設定は別紙 P. ■応用操作をご覧ください	 まわして下図の設定 項目を表示させる PRODUCTS	 まわして下図のサブ メニューを表示させる AROMA	XMILD ● MILD ●● NORMAL ●●● STRONG ●●●● XSTRONG ●●●●● 上記5段階から選択	 短押しで決定		 設定したい段階、 量などを表示させ た状態で短押し→ 決定	SELECT PRODUCT メニューボタン選択画面へ戻る 続けて他のボタンの設定が可能。 終了したい場合は↓  EXIT メニューボタン選択 画面終了
コーヒー温度 ※温度を HIGH に設定していても、温めて いないカップを使用するとコーヒーはすぐ に冷めてしまいます。カップは必ず温めて お使い下さい。	 短押しで決定 SELECT PRODUCT 設定を変えたいメ ニューボタンを押す 	 まわして下図のサブ メニューを表示させる TEMPERAT. NORMAL	NORMAL HIGH 温度を2段階から選択			CONFIRMED ✓ 新たな設定を 確認しました 続けて他のサブメ ニューの設定可能 湯量 粉量 温度	PRODUCTS 設定項目選択画面へ戻る  EXIT 設定画面終了 COFFEE READY 通常画面へ

メニューボタン設定・2〔ミルク / 給湯編〕

	設定項目	設定画面へ (共通操作)	サブメニュー選択 ロータリースイッチを回す	備考	サブメニュー 決定	設定の増減・選択 ロータリースイッチを回す	決定	通常画面へ戻る
ワンタッチボタン	コーヒー抽出量 (湯量)		COFFEE ML	コーヒー抽出量を 25 ~ 240ml のあいだで 設定 (5ml 単位)				
	コーヒー濃度 (粉量)	MAINTENANCE	AROMA	5 段階から選択 前頁コーヒー濃度参照				
	コーヒー温度		TEMPERAT.	NORMAL HIGH 温度を 2 段階から選択				
	ミルクフォーム量		MILK SEC	3 ~ 120 秒のあいだで設定 (1 秒単位)				
	ポーズ (一時停止)		PAUSE SEC	0 ~ 60 秒のあいだで設定				
セレクトスイッチ	定量ミルク	SELECT PRODUCT 設定を変えたい メニューボタンを押す	MILK SEC (定量ミルクのみ)	3 ~ 120 秒のあいだで設定			CONFIRMED 新たな設定を 確認しました	
	連続ミルク		PRODUCT	ACTIVE 使用 INACTIVE 不使用 (ロック)				
	定量給湯	※定量ミルク・給湯の場合はセレクトスイッチを回して任意のマークを点灯させスイッチを押す 	WATER · ML (定量給湯のみ)	15 ~ 450ml のあいだで設定				
	連続給湯		TEMPERAT	LOW NORMAL X HIGH 3 段階から選択				
			PRODUCT	ACTIVE 使用 INACTIVE 不使用 (ロック)				
								まわして EXIT を表示させ、短押しで決定 (=サブメニュー終了) SELECT PRODUCT メニューボタン選択画面へ戻る 続けて他のボタンの設定が可能。 終了したい場合は↓ EXIT メニューボタン選択画面終了 PRODUCTS 設定項目選択画面へ戻る EXIT 設定画面終了 COFFEE READY 通常画面へ

その他の設定

以下の項目を設定および変更することができます。

設定項目	設定画面へ (共通操作)	設定項目選択	決定	設定の増減・選択 ロータリースイッチを回す	備考	決定	通常画面へ戻る
エコノミーモード		ECONOMY MODE-		SAVE NO SAVE LEVEL 1 SAVE LEVEL 2	常時抽出スタンバイ状態。 マシンの加熱を待たずに抽出可能。 コーヒー抽出は常にスタンバイ状態、スチーム (= ミルクフォーム) は必要時のみ稼動。スチームの加熱には約 1 分かかります。消費電力約 30% カット 必要時のみマシンを加熱。最後に抽出してから 5 分経過すると自動的に節電モードへ。マシンがスタンバイ状態になるまで約 30 秒かかります。消費電力約 40% カット		
時刻・曜日設定	長押し ピッ MAINTENANCE	TIME		短押しで決定 TIME --- WEEKDAY MONDAY	時：あわせて短押し ↓ 分：あわせて短押し ↓ 曜日：あわせて短押し	短押しで決定	短押しで決定 もう一度
自動電源 ON/OFF (時刻設定後)		UNIT ON/OFF		UNIT ON --- MACH OFF --- ON/OFF MON YES	自動電源 ON 時刻 時：あわせて短押し → 分：あわせて短押し 自動電源 OFF 時刻 時：あわせて短押し → 分：あわせて短押し 自動電源 ON/OFF 機能を使用するかどうか 曜日毎に YES NO で選択	短押しで決定 CONFIRMED 新たな設定を確認しました 続けて他の設定項目選択可能	短押しで決定
自動終了 (最後の作動から ・ 時間後)		OFF AFTER -- H		OFF AFTER 0.5H	0.5H (30 分) ~ 15H 0.5 以外は 1 時間単位		
リンス設定		RINSES		INIT RINSE MANUAL CAPP RINSE AFTER 10'	起動時リンス設定 MANUAL (手動) または AUTO (自動) から選択 ※設定の切替は電源 OFF 後マシンが完全に冷えた後に有効となります。(= 変更直後の動作確認はできません) フローサーのリンス勧告設定 AFTER 10' 10 分後 NOW 使用後すぐ から選択		

メンテナンス / **MAINTENANCE** : フローサーの洗浄 (p.19)、洗浄プログラム (p.20)、カルシウム除去プログラム (p.21) への入り口 詳細はそれぞれのページへ

浄水器 / **FILTER** : 日本では使用しません

水質硬度 / **HARDNESS** : 販売代理店で設定します

情報 / **INFORMATION** : 各ボタンの抽出杯数やメンテナンス回数が確認できます

水量・時刻表記方法 / **SETTINGS** : 24 h 表示 / 12 h 表示 ml 表示 / oz 表示 が選択できます

表示言語 / **LANGUAGE** : 日本語はありません (英・独・仏・伊・オランダ・スペイン・ポルトガル)

トラブルシューティング・1

ディスプレイに表示されるケース

ディスプレイ表示	意味	解決方法	それでも復帰しない場合
FILL WATER TANK	水タンクに水を入れてください	水を補給する (p.7 抽出の準備)	●水タンク内の水位感知部品が外れていませんか？ 黒いプラスチック部品がはずれている場合はタンク内の小部屋に収め、透明なプラスチックカバーをしてください。また、水タンクをふって、ケース内で部品が動くかどうか確認してください。 ●水タンクが汚れていませんか？タンク内は常に清潔にしてください。
FILL BEANS	コーヒー豆を入れてください。	コーヒー豆を補給する (p.7 抽出の準備) 豆が入っているのに出る場合はセンサー部を拭く (p.17) コーヒーが薄くなった、の項参照	●初めてご使用の場合はもう一度抽出ボタンを押してみてください ●その他の場合は豆ケースに異物 (水、木片等) が入った可能性があります。洗浄タブレット投入口 (10) を引き抜き、掃除機でミル出口の粉を吸い取ってみてください ●解決しない場合は至急販売代理店に連絡してください。
EMPTY GROUNDS	粕ケースを空にしてください	コーヒー粕を捨てる (p.7 粕の捨て方・排水)	●粕ケースを取り出し、10 秒後に再度セットしてください。 ●ドリフトトレイの電極 (特に裏側) を中性洗剤で洗ってください。
TRAY MISSING	ドリフトトレイが入っていません	ドリフトトレイを元へ戻す	●ドリフトトレイを取り出し、10 秒後に再度セットしてください。 ●ドリフトトレイの電極 (特に裏側) を中性洗剤で洗ってください。 ●電極がとれていませんか？洗って水気を拭き取り瞬間接着剤で元の位置に取り付けてください。
EMPTY TRAY	ドリフトトレイを空にしてください	ドリフトトレイ内の排水を捨てる (p.7 粕の捨て方・排水)	●ドリフトトレイの電極が汚れていませんか？ 中性洗剤とブラシを使ってきれいに洗浄してください (p.7 電極部の清掃) ※特に電極と電極の間のスキマをよく洗浄してください。 その後乾いた布で水気を拭き取って再度セットしてみてください。
CLEAN MACHINE	洗浄タブレットによる洗浄が必要です (コーヒー抽出は可能です)	洗浄プログラム (p.20) を実行してください	●洗浄タブレットを使用せずにもう一度洗浄プログラムを行ってください。
CLEAN NOW	早急に洗浄タブレットによる洗浄が必要です	すぐに洗浄プログラム (p.20) を実行してください	
DECALCIFY MACHINE	カルシウム (水垢) 除去が必要です (コーヒー抽出は可能です)	カルシウム除去プログラムを実行してください	●カルシウム除去剤を使用せずにもう一度カルシウム除去プログラムを行ってください。
DECALCIFY NOW	早急にカルシウム (水垢) 除去が必要です	すぐにカルシウム除去プログラム (p.21) を実行してください	
FILL SYSTEM	内部に水がありません	初めてご使用の場合はリンスボタンを押してください。	●水タンクの下に異物が挟まっていないかご確認ください。 ●水タンク下のネットフィルターにごみが溜まっていないかご確認ください。 ●本体給水口の外周溝に異物が入っていないかご確認ください。
ERROR 2	異常低温 (一定時間内に温度が上がらない)	再度電源を入れなおし数分待ってください。	●販売代理店にご連絡ください。
ERROR 8	起動不良	電源を切り電源プラグを抜いて数分後、再びプラグをさし、スイッチを入れるとしばらく使用できる場合があります。	●至急販売代理店にご連絡ください。

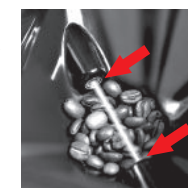
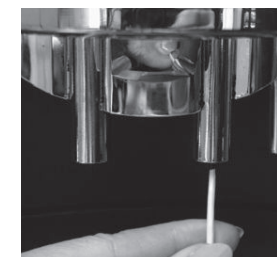
上記を試しても改善されない場合は販売代理店にご連絡ください。

トラブルシューティング・1 (続き)

ディスプレイに表示されるケース		
ディスプレイ表示	意味	解決方法
CHANGE FILTER	フィルター交換して下さい。 ※日本国内では使わない機能です。 オフ設定で出荷しておりますが、操作中に誤って設定をオンにして使用を続けるとこの表示がでます。	
FILL SYSTEM CHANGE FILTER ↓ FILTER NO	フィルター交換して下さい。 内部に水がありません。 ※上記同様日本国内では使わない機能がオンになったまま使用したためにおきた複合的なトラブルです。 さらに使用を続けて FILTER NO 表示が出るとこのボタンも反応しなくなってしまいます。	
上記を試しても改善されない場合は販売代理店にご連絡ください。		

トラブルシューティング・2

ディスプレイに表示されないケース		
トラブル	考えられる原因	解決方法
使用中に電源が落ちてしまう ※症状を放置すると基盤等の重要部品が故障する恐れがあるのでご注意ください。	電気容量が不足している	●電気工事店にご相談ください。●同じ電源を使用している機器のプラグを外してください。●延長コード、タコ足配線厳禁
	他の機器のノイズを拾っている	●原因になりそうな機器を遠ざけてください
コーヒーの出が悪い ボタボタとしか出てこない	豆の挽きが細かすぎる	●豆の挽き調整を粗くする (p.9 挽き目調整 豆ケース内のダイヤル：印が大きくなるほど挽きが粗くなる)
	フィルターの目詰まり	●販売代理店にご連絡ください
左右の抽出量が均等でない	マシンの傾き	●設置台の水平をとってください
抽出口の片側だけ出が悪い	抽出口内部の汚れ	●詰まっている側の抽出口を図のようにつまようじのような細いもので下からやさしくつついてみてください。何度かつついたら続けて洗浄タブレットを使った毎日の洗浄を行ってください。(p.20) それでも解決しない場合は内部で汚れが固まっている可能性があり、修理が必要となります。
ミルクフォームが泡立たない ミルクフォームがぬるい	エアークッションの汚れ・目詰り	●エアークッションを洗浄するかスペアと交換してください
ミルクフォームが出てこない	フローサーの汚れ	●p.19 に従ってフローサーを洗浄してください。 ●ミルクの固まりがつまっている場合、応急措置としてフローサーを取り外し、図のように針金やクリップ等先の細いものでスチームの穴をつついてみてください。 ※時間ができ次第、フローサーを洗浄してください。
コーヒーを挽くときに異音がる ミルが空回りして豆を挽かない	豆ケースに異物が混入した 豆ケース内にコーヒーの微粉が溜まっている	●洗浄タブレット投入口 (10) を引き抜き、掃除機でミル出口の粉を吸い取ってみてください
(設定を変えていないのに) コーヒーが薄くなった	センサーの汚れ	●豆ケースカバー (1)、及び中蓋 (2) を開け、マイナスドライバーを使って中のプラスチック部品を取り除き、センサー部分 (矢印の箇所) をきれいに拭きとってください。
コーヒーがぬるい	カップを温めていない	●陶器のカップはコーヒーの熱を奪います。カップは必ず 60 ～ 70℃ 程度に温めてからお使いください。 エスプレッソ等抽出量の少ないものほど事前のカップの温めが重要です。 ●(p.12 コーヒー温度) を参照してコーヒーの温度を HIGH に設定してください
上記を試しても改善されない場合は販売代理店にご連絡ください。		



メンテナンスキーのロックおよび解除方法

コーヒーボタンを2秒以上長押しすると設定してある抽出量が変わってしまいます。

(p.8 抽出量かんたん設定参照)

セルフサービス等不特定多数のお客様がマシンをお使いになる場合、抽出量の設定が変わってしまうのを防ぐため、以下の方法でメンテナンスキーをロックすることをおすすめします。

メンテナンスキーのロック

朝、営業前に必ず確認！

① ON/OFF ボタンを押し電源を切ります。

ミルクを使用した場合は電源オフ→press rinse / clean cappuccino 表示が出るので
もう一度電源ボタンを押す→machine cleaning →press rinse /spout right 表示→さらに電源ボタン押す→電源おちる。



② コーヒーアラカルトキー、ロータリースイッチ、リンスボタンを**同時に長押し**

③ **MAINT. STOP**
と短く表示されすぐに消えます。
これでロックがかかりました。

④再度 ON/OFF ボタンを押し、ご利用下さい。

メンテナンスキーのロック中は洗浄等のお手入れもできなくなってしまいます。このため、
お手入れをする前に以下の方法でロックを解除して下さい。

メンテナンスキー / ロック解除方法 各種洗浄・カルシウム除去前に必ず確認！

① ON/OFF ボタンを押し電源を切ります。

ミルクを使用した場合は電源オフ→press rinse / clean cappuccino 表示が出るので
もう一度電源ボタンを押す→machine cleaning →press rinse /spout right 表示→さらに電源ボタン押す→電源おちる。



② コーヒーアラカルトキー、ロータリースイッチ、リンスボタンを**同時に長押し**

③ **MAINT. OK**
と短く表示されすぐに消えます。
これでロックが解除されました。

④再度 ON/OFF ボタンを押し、ご利用下さい。

ミルクラインの洗浄 ※毎日おこなってください (コーヒーライン洗浄の前におこないます)

■毎日の洗浄



業務終了時には専用の洗剤を使用してミルクラインの洗浄をしてください。

ミルク用洗剤・ラテウォッシュ 1.8 kg (別売)
販売代理店または(株)コントラストにご注文ください。

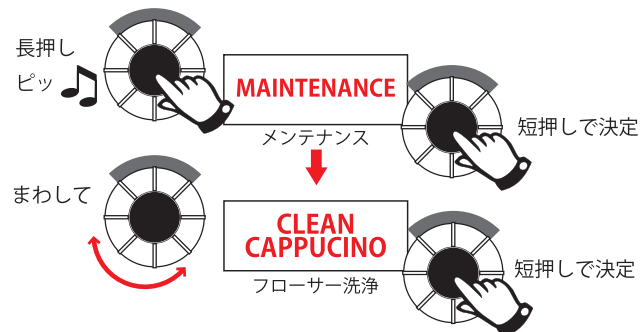
※メンテナンスキーをロックしている場合 (p18) はロックを解除してから行います (p18 ページ右側、メンテナンスキー/ロック解除方法参照)

① 125cc (ステンレスカップ 1/4 程度) の水湯に対し 5cc (付属の計量カップひと目盛) のラテ・ウォッシュ (注 *1) をよく溶かして洗浄液を作り、ミルクチューブの先を浸します。フローサーの下には空の容器を置きます。



洗剤が皮膚や目に触れないよう手袋・保護メガネ等をご着用下さい。

② メンテナンスメニューからミルクラインの洗浄プログラムを選択します。



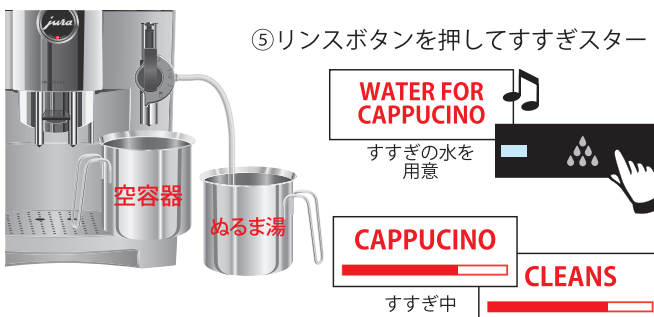
③ リンスボタンを押して洗浄スタート



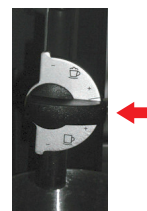
洗浄液がミルクチューブを通して吸い上げられ、フローサー内部を洗浄した後、空の容器にはぎだされます。



④ すすぎの為、今度はカップにきれいなぬるま湯を 1/4 杯用意してミルクチューブの先を浸し、フローサーの下には空の容器を置きます。



※オートカプチネーターはミルク調整ノブがボイラー水抜き位置 (水平) になっていると洗浄液を吸い上げないのでご注意ください。

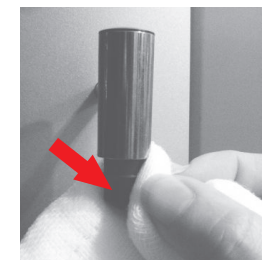


続いて分解清掃を行います。

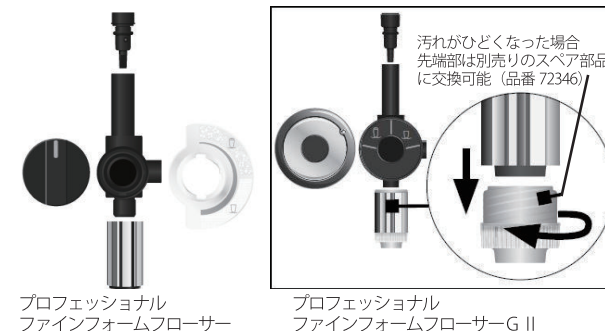
⑤ フローサーの中ほど、ゴム部分を手前に折るようにしながら下に引き抜き、本体から取り外します。



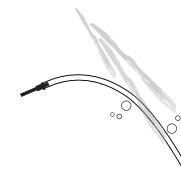
⑥ フローサーを取り外したあと、本体側スチームノズル先端に残ったミルク成分を拭き取ります。



⑦ フローサーを以下のように分解し中性洗剤を使用し、ブラシ等でよく洗います。



ミルクチューブも取り外してミルク成分をよく洗います。



⑧ 各パーツをきれいにすすぎ、元通り組み立てて本体に取り付けます。

※組み立てを間違えるとミルクがでません。上図を参照して、間違いのないよう元に戻してください。

洗浄プログラム（コーヒーライン）※毎日おこなってください

洗浄タブレットを使用して洗浄プログラムを毎日行ってください。また、下記の表示が出たときにも行ってください。

CLEAN MACHINE または **CLEAN NOW**



※上記の表示が出ている場合はリンスボタンを押し、手順④へ進んで下さい。

洗浄タブレット
販売代理店または(株)コントラストにご注文ください。(1本 60錠入)

■洗浄プログラム



洗浄は約 20 分かかります。
洗浄プログラム終了後は通常通り抽出可能となります。

この作業は中断できません。

※メンテナンスキーをロックしている場合 (p18) はロックを解除してから行います (p18 ページ右側、メンテナンスキー / ロック解除方法参照)

※ミルクをお使いになった場合は先に p19 ミルクラインの洗浄を行ってください。

①設定パネル扉 (23) を開き
ピッという音がするまで
ロータリースイッチを長押し

②メンテナンスメニューから
マシンの洗浄プログラムを選択します。

MAINTENANCE メンテナンス



短押しで決定

まわして

CLEAN MACHINE マシン洗浄



短押しで決定

③以下のように表示が変わり、リンスボタンが点灯します。

DURATION 20MIN → **START YES**

この作業は
約 20 分かかります

開始します

リンスボタンを押して
洗浄を開始します。

※ロータリースイッチを押しても同じように開始します
※この時点で洗浄プログラムをキャンセルしたい場合は
ロータリースイッチを回転→ **START NO** を選択→決定して
ください。



(② - ③の手順は手早くやらないと元の表示に戻ってしまうのでご注意ください)

④ドリフトトレイ (7)
の排水と粕ケースの
コーヒー粕を捨て、
それぞれを洗ってから
本体に戻します。

EMPTY TRAY

排水を捨てる

ドリフトトレイを
外している間は
右の表示が出ます

TRAY MISSING

トレイが入っていません

⑤以下の表示が出たら左右両方のコーヒー抽出口 (15) (12) の下に排水受けを置き、リンスボタン (18) を押します

PRESS RINSE



リンスボタンを押す



⑥コーヒーラインの洗浄がはじまります。

CLEANS



洗浄中

⑦以下の表示が出たら洗浄タブレット投入カバー (9) を開け、洗浄タブレットを 1 粒投入してフタを閉じます

ADD TABLET 洗浄剤投入

PRESS RINSE

リンスボタンを押す

洗剤が皮膚や目に触れないよう、手袋・保護メガネ等をご着用下さい。



⑧リンスボタン (18) を押します



⑨洗浄がはじまります
ピッという音がしたら終了です

CLEANS



洗浄中

⑩ドリフトトレイの排水と粕ケースにたまった水を捨て、それぞれ中性洗剤を使用してブラシ等で洗い、水分をよく拭き取ってから本体に戻します。

EMPTY TRAY

排水を捨てる

⑪抽出可能表示に戻り
洗浄プログラムは終了です。

COFFEE READY

抽出可能

⑫排水受を置き、ON/OFF ボタン (17) を押して電源を切ります。



⑬以下の表示が出る場合は排水受を右側抽出口の下に置き、リンスボタン (18) を押してください。

SPOUT RIGHT PRESS RINSE

右側抽出口
リンスボタンを押してください



⑭表示が消えたら水タンクを取り外してよく洗い空にします。
(水タンクは定期的にしかりと洗ってください。※食洗器使用不可)

カルシウム除去マニュアル

以下のようなサインが出たら
カルシウム除去が必要です。
※サインが出てコーヒーやお湯の供給はできますができるだけ速やかにカルシウム除去を行ってください



DECALCIFY MACHINE

または
DECALCIFY NOW

カルシウム除去剤
販売代理店または(株)コントラスト
にご注文ください。
(9 錠入り・3 回分)

■カルシウム除去プログラム



カルシウム除去は約 45 分かかります。
プログラム終了後は通常通り抽出可能
となります。



この作業は中断できません。

※メンテナンスキーをロックしている場合 (p18)
はロックを解除してから行います (p18 ページ右
側、メンテナンスキー / ロック解除方法参照)

①カルシウム除去のサインがでている状態で
リンスボタン (18) を押します

DECALCIFY MACHINE

カルシウム除去プログラムを
実行してください



②

DURATION 45MIN

この作業は
約 45 分かかります

EMPTY TRAY

排水を捨てる

ドリフトトレイの排水と粕ケースのコーヒー
粕を捨て、それぞれを洗ってから本体に戻し
ます

③以下の表示がでたら本体から水タンクを
外し中に残っている水を捨てて空にします。

SOLVENT IN TANK

除去剤を用意

④カルシウム除去剤 3 錠と 600cc の水を正
確に計りタンクに入れ、再び本体にセット
して、カルシウム除去剤が完全に溶けるま
で待ちます ※除去剤やその溶液が皮膚や目に触
れないよう手袋・保護メガネ等をご着用下さい。



※水の量が不正確だと適切な効果が
得られません。
※水が多すぎる場合、水がなくなる
までプログラムを動作し続け時間が
かかりますのでご注意ください。
※除去剤を早く溶かしたい場合はぬ
るま湯 (40℃以下) をご使用下さい

⑤フローサーを本体から外します。
下図のように給湯口とフローサーの下それ
ぞれに排水受けを用意します。



⑥リンスボタンを押します。まずはフロー
サー下から、次に給湯口からそれぞれ断続
的に排水が出ます。

PRESS RINSE

リンスボタンを押す



除去作業中はリンスボタンが点滅し、バー
表記で進行具合が表示されます

DECALCS

カルシウム除去中

⑦ピッピッという動作音になり、表示が以
下のように変わったら、ドリフトトレイ (7)
の排水を捨てます



EMPTY TRAY

排水を捨てる

⑧ドリフトトレイを本体に戻すと以下の表
示に変わります。

RINSE WATER TANK

水タンクをすすぐ

FILL WATER TANK

水を補充

ここからはマシン内部に残った除去剤をす
ぐ作業です

⑨除去剤成分が残らないよう水タンクを丁
寧にすすぎ、きれいな水で満たして本体へ
戻します



※⑧のドリフトトレイを戻す前に
新たな水をセットしてしまうと、
マシンは手順⑥の水が残っていると
判断し、再度同じ作業を繰り返して
しまいます。すすぎ用の水は必ず
トレイを戻した後にセットします。

⑩水タンクを戻すと以下の表示が出るので
先ほどと同じように排水受けを用意し、リ
ンスボタンを押します。

PRESS RINSE

リンスボタンを押す



DECALCS

カルシウム除去中

フローサー下と給湯口からそれぞれ断続的
に排水が出ます。

すすぎ作業中もリンスボタンが点滅し、バー
表記で進行具合が表示されます。

⑪すすぎが自動的に終了した後、以下のよう
に表記が変わり、給湯口とコーヒー抽出口か
ら同時に排水がでます

ウォーミングアップ

HEATING UP



MACHINE RINSING

すすぎ中

⑫ピッピッという動作音になり、表示が以
下のように変わったらドリフトトレイ (7) と
粕ケース (5) の排水を捨て、それぞれをき
れいに洗います。ドリフトトレイ後ろ側の電
極部も (p.7 電極部の清掃を参照し) 中性洗
剤でよく洗い、水分を拭き取って本体へ戻し
ます



EMPTY TRAY

排水を捨てる

⑬以下の表示に戻り、カルシウム除去プログ
ラムの終了です。

COFFEE READY

抽出可能

カルシウム除去を任意で行いたい
場合は以下の手順で始めます。

1. ロータリースイッチ長押し
 2. **MAINTENANCE** と表示させてロータリース
イッチを短押し
 3. ロータリースイッチを回し、**DECALCIFY MACHINE** と表示させて短押し
 4. **DURATION 45MIN・START YES** と表示さ
れるのでロータリースイッチを短押し
- 以降は本文②～と同様にすすめます